神戸新聞 2026年10月01日 木曜日 面名 朝二 １４ 2ページ

サイバー攻撃 無害化措置

防御法施行 被害事業者に報告義務

サイバー攻撃に先手を打って被害を未然に防ぐ「能動的サイバー防御」関連法が1日、施行された。政府が攻撃元サーバーに入り込み無害化する措置が可能となる。電気や鉄道などの基幹インフラ事業者がサイバー攻撃の被害に遭った場合は、政府への報告が義務化される。先端人工知能（AI）の進展でサイバー攻撃の手口が急速に高度化・巧妙化する中、能動的防御を本格始動させることで脅威に備える。

制度に実効性を持たせるためには、民間企業との連携強化が不可欠となる。政府と事業者が攻撃の脅威情報や対応策を共有する官民のサイバー協議会が1日、発足する。

高市早苗首相は30日、自身のX（旧ツイッター）で「無害化措置が新たに加わり、わが国を標的とするサイバー攻撃に、実効的に対処することが可能となる」と強調した。

無害化措置は、警察や防衛省・自衛隊が担う。攻撃に使われているサーバーに遠隔で入り込み、プログラムを停止・削除したり、ハッカーが再びサーバーを利用できないよう設定変更したりする対応を想定する。

政府は、基幹インフラ事業者などからサイバー攻撃の発生や兆候に関する情報の報告を受けると、無害化措置の必要性を検討。場合によっては国家安全保障会議（NSC）で審議する。最終的に第三者機関「サイバー通信情報監理委員会」が承認すれば、措置が可能となる。監理委は元札幌高裁長官の近藤宏子氏がトップを務める。

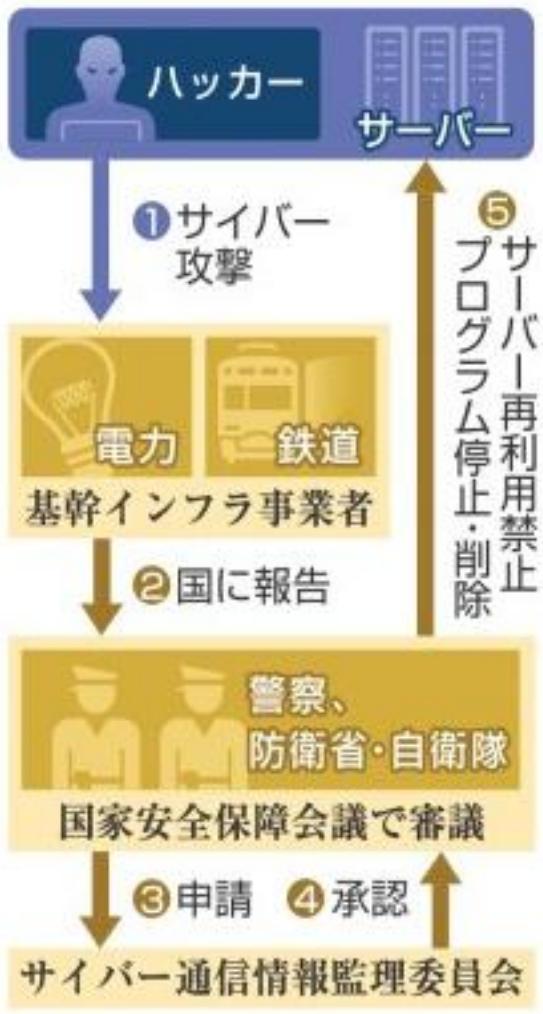
関連法のうち、政府が通信情報を平時から監視・分析する対応は今回の施行内容に含まれない。①日本を経由する外国間②外国から国内③国内から外国―の3種類の通信情報が対象となり、政府は必要な準備を進めて2027年中に全面施行する方針だ。

検証の仕組み不可欠

横浜国立大大学院の吉岡克成教授（サイバーセキュリティー）の話　能動的サイバー防御の実施には、政府による目的外使用や権限乱用を避けるため、第三者機関「サイバー通信情報監理委員会」が実効的な監視や検証を行える仕組みの構築が不可欠だ。政府は委員構成を多様化するとともに、十分な権限と情報を提供しなければならない。

情報監理委には機密情報を管理、処理するための技術や、活動を支える信頼性の高い人材の確保など、外部の知見を適切に取り入れられる運用体制が求められる。

対処すべき事案を選択するための「セキュリティー・インテリジェンス」の充実も必要だ。米国や英国など関係国との連携に加え、政府や民間企業による脅威情報の収集・分析能力の向上が急務だ。



(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 「能動的」の言葉の意味と対義語を書きましょう。

意味[　　] 対義語[　　]

2 10月1日に施行された「能動的サイバー防御」関連法について、[　　]にあてはまる語句を本文中から選んで書きましょう。

[①　　]や[②　　]などの[③　　]インフラ事業者がサイバー攻撃の被害に遭った場合に、[④　　]が攻撃元の[⑤　　]に遠隔で入り込み無害化する措置が可能となる。無害化措置を担うのは[⑥　　]や防衛省・自衛隊で、プログラムの停止・削除や設定変更を行う。

★2026年10月1日に施行したこの法の判断を問われることが早速起こりました。「能動的サイバー防御②」に続く

NIEワークシートのこたえ（2026年10月28日公開）

◆ワークシート
「 能動的サイバー防御①(社会)」
2026.１０.１付　朝刊　２面　解答

１　意味：自分から進んで他のものや人へ働きかけるさま（同意可）
対義語：受動的

２　①電力　②鉄道　③基幹　④政府　⑤サーバー　⑥警察

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事を読んでの感想や意見を１行で書いてみましょう。）

★１００字シート（□にチェック）　□記事の要約　□記事に対する感想・意見